

1. 件 名：実機材研究に関する意見交換
2. 日 時：令和4年5月24日(火)10時00分～11時00分
3. 場 所：電力中央研究所大手町ビル
4. 出席者
原子力規制庁長官官房技術基盤グループシステム安全研究部門
池田技術研究調査官
渡辺技術研究調査官
原子力エネルギー協議会：1名
東京電力ホールディングス株式会社：3名
中部電力株式会社：2名
北陸電力株式会社：2名

5. 要旨

原子力規制庁（以下「規制庁」という。）は、原子力エネルギー協議会との協議（令和元年9月27日面談）の結果を踏まえ、国内の電気事業者より実機材料の貸与を受け、安全研究プロジェクト「実機材料等を活用した経年劣化評価・検証に係る研究」において試験を実施している。

今般、規制庁と原子力エネルギー協議会は、上記安全研究プロジェクトにおいて実施している「電気・計装設備の健全性評価に係る研究（令和2年度～令和6年度）」（以下「本研究」という。）に関連して、意見交換を行った。

規制庁からは、東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）に対して、本研究で使用する目的で貸与を依頼した低圧ケーブルの取り出し状況について質問した。これに対し、東京電力から、貸与の対象となる低圧ケーブルについて、取り出し工事の工程を含め調整中であるとの説明があった。規制庁からは、状況が整い次第、面談を行い、貸与に係る調整等を行いたい旨を伝えた。

また、原子炉格納容器電線貫通部（以下「電気ペネ」という。）を用いた試験概要について意見交換を行った。規制庁からは、本研究で実施している電気ペネを用いた試験の結果について、今年度電気学会で公表することを説明した。原子力エネルギー協議会からは、電気ペネに関する電力共同研究は計画どおりに令和3年度末で終了した等の説明があった。

今後とも、電気・計装設備の研究の意見交換を行うこととなった。

6. その他

提出資料：特になし。